

ライディングスポーツカップ北陸バイクフェスティバル  
HBF53 ミニバイク200分耐久レース  
(2024年10月20日大会規則書)

『北陸バイクフェスティバル』の目指すところ

オートバイは最高です、サーキット走行も最高、そこで知り合う仲間も最高です、ただ残念な事に北陸では楽しめる場所、バイク好きが集まる場所が良くわからない、まずは北陸地方で誰でもが参加できる楽しさ優先のバイクイベントをという事で北陸フェスティバルを開催しております。

一般的にバイクレースというと参加したいけれど「危険!?!」「お金かかる!?!」「敷居が高く自分にはレベルが高すぎる!?!」等あると思います、これらの要素を出来るだけ排除し一人でも多くの人にサーキットを走ってバイクの楽しみを知ってもらいたい。

それが『北陸バイクフェスティバル』の目標です。

今回の夏大会は、夏の海の日に誰もがあこがれた鈴鹿8時間耐久レースのような過酷な炎天下の中でこそその耐久!とバイクを使った楽しいイベントを開催します。

「レースを楽しむ」ということ 勝つことだけがレースじゃない!

レースというと「勝ち負け」をイメージする人が多いと思います。

しかし耐久レースでの完走、走りきる事、仲間たちと一喜一憂する事もレースの醍醐味です。

『北陸ミニバイク200分耐久』は『楽しんだ人が勝ち』です。

初心者様大歓迎!初めての方大歓迎です。

参加者全員で楽しむために安全でフェアなレースを!

楽しめるレース、そのためには安全とフェアプレーが必須です。

ですので、ルールやマナーにはちょっとうるさいかもしれません。

私たちは参加者の皆さんと一緒に『北陸ミニバイク』を盛り上げていきたいと考えています。

大会日程

【開催日】2024年10月20日(日)

会場 富山県おわらサーキット

〒939-2367 富山県富山市八尾町平林72-1

TEL: 076-455-0687 FAX: 076-455-2546

主催

株式会社マルトモ商店 北陸バイクフェスティバル事務局

〒920-0059 石川県金沢市示野町西19 TEL: 0762-267-3100

担当中山しんたろう TEL090-4324-8013

【競技規則】

## 競技内容

**HBF200 分耐久**はスタートから規定時間経過時点での周回数によって順位を決定します。

## 当日の流れ

### 1 タイムスケジュール（別紙参照）

ゲートオープン AM7 時予定 入場の際にはエントラント名、ライダー名をお名乗りください。  
(それ以外の方は入場料がかかります)

### 2 駐車場について

駐車スペースに指定はありませんがスペースには限りがあります。チーム1台の駐車スペースの範囲でお願いします。  
(バイク1台に2台以上トランスポーターのある場合、指定区域に移動してもらう場合があります。  
また、ピットエリアへの乗り入れは特に指定した場合を除き禁止します。

### 3 ピット割りとピットへの搬入

ピット使用は各決勝時のみ指定(受付時に指定)となります、それ以外の時間は譲り合ってお使いください。

### 4 参加受付

参加者は当日朝、受付にて受理書を提示してください。

**WEB エントリーのチームは、受理書と共に全員の署名捺印が入った誓約書を提出ください。**

### 5 車検 受付と同時予定

**参加車両と全ライダーの走行装備**、給油予定のチームは**給油装置**を持って車検を受けてください。

(選手受付、車検を終えた際にピットエリアを指定できるようにいたします、当日はお早めに受付をお願いしま  
す) **車検を受けていない車両は練習走行含め一切の走行を認めません。**

### 6 ブリーフィング 集合写真撮影

車検、受付、を終え走行前にブリーフィングを行います。当日の注意事項等を伝達します。

ライダーは必ず全員参加してください、注意事項ありますのでピットクルーの方も参加してください。

### 7 練習走行ミニバイク 3 時間耐久 20 分間

- ・ コースイン・ピットインの手順を確認してください。(車両乗り換えの場合計測器の交換も)
- ・ コースの状態やオフィシャルの位置 旗の提示位置を確認してください。
- ・ おわらサーキットの走行が初めての方は、コース・ラインを確認してください。(前日に走行枠がありますのでそちらを走行される事をお勧めします。決勝を走行するライダーは1周以上の練習走行お願いします。(安全の為)

### 8 レース スタート ミニバイク 200 分 13 時 00 分

いずれもルマン式スタートとします。

- ・ **ミニバイク、under250cc2 時間耐久共にスタート順は前日の 1DAY バイクの走行時のタイム順とし、それ以外は申し込みでのグリッドとします** (エントリー締め切り後リスト発表時に提示)

**エンジンをかけた状態からのルマン式スタートとします。**

- ・ スタート進行はスタート 10 分前よりコースイングリッド整列となります、**5 分前ピットレーンクローズ**、それ以降のコースインは一切認めません、その場合ピットスタートとします。
- ・ スタートの合図にはフラッグを用います。(スタート時刻に日章旗を振り下ろした時点でスタートとします)
- ・ 万が一転倒した場合は後続車を確認し後続車ヘアピールをしつつ避難を最優先してください。
- ・ コース上での長時間の停止は禁止です。エンジンが停止した場合はオフィシャルの指示によって安全な場所へ移動してから押し掛けするか、マシンを押してピットにお戻りください。

また、**ライダーはコース内でヘルメットを脱ぐのは厳禁です。**

- ・また、今回もピットイン義務回数を設定します。(雨模様になった場合、最低ピット回数は解除します)このルールは頻繁するライダー熱中症対策ですのでライダーによって極端に走行時間の差が出ないようにお願いします。
- ・マシントラブルが発生した場合は無理にピットに戻らずコース外に出てください。(外周路があります)特にオイルを飛散させるトラブルが起きた場合は大きな事故につながる可能性があります。
- ・ピットでの作業は基本的に作業レーンで行うこととします。しかし、大規模な作業が必要な場合はピット内もしくはパドック作業することを認める場合があります。(その場合オフィシャルに許可を取ってください)また、重大事故が発生した場合赤旗レース中断という措置を取ります。その場合、追い越し禁止、速やかにピットインしてピットレーンに留まってください。事故処理が終わり再スタートはオフィシャルの指示によりレース再開とします。

#### 10 ピットイン、ライダー交代 給油 ピットアウト

ピットインは最終コーナー側よりピットインし必ずコントロールタワー前を通過して下さい。

**ピットロードは30キロ以下での徐行とします(抜き打ちでスピード測定を行います)、**ライダー交代はピット前で行ってください。ひどい場合、一度目は注意、**2度目から周回数減算などのペナルティ**を課させていただきます。今回レース給油を行う場合、ピットロード上にて給油車両のエンジンは必ず停止させ、直立状態で給油する事とする。給油の際は金属製の携行缶を使用し、クルーがサーキットピット常備の消火器を構えた状態で給油する事します。また under250cc2 時間耐久でバイクを交換する場合、指定場所にてトランスポンダーの交換を行い、ピットアウトを行ってください。**その場合、確実に作業できる時間として30秒の義務ストップ時間を授けます。**

(ポンダー脱落、交換者が手を怪我、やけどする事例が発生しております)

**最低ピット回数を指定させていただきます、ミニ200分耐久は6回以上(3時間は5回以上となります。)**

となります、ピット出口に長テーブルを置きますので、各チームピットアウトするライダーは記入用紙にその時の時間を書き入れてください。(規定回数を達成したチームもテーブル前では一旦停止をして頂きます。)記入用紙はゼッケン順に並べて置いておきます。(混雑する場合スルーしても構いませんが必ず走行ライダーが最低回数は書き入れください)

#### 11 レース終了

規定時間経過した時点での総合TOP車両に対してチェッカー旗を振り以降コントロールタワー前通過で競技終了とします。**終了後、チェッカーを受けた車両は必ずピットレーン、割り当てピット前に車両を並べてください。**

車両のチェックを行います。

必ずピットレーンに車両を並べてください。入賞マシンは必要に応じて再車検される場合があります。

**under250cc2 時間耐久は終了後、走行した参加車両を同じゼッケンの車両の横に並べてください。**

主催者から分解指示などがあった場合には、速やかに対応してください。

#### 12 表彰式

今回、表彰式では入賞者だけでなく様々な賞を設定しています。

入賞できなかったチームにも賞典授与のチャンスはありますのでできる限り出席をお願いします。

また全員参加のじゃんけん大会もあります。

#### 参加者の義務

北陸バイクフェスティバルは HBF 事務局がおわらサーキット様よりコースとパドックをお借りした上で運営をしております、状況により、イベント自体が開催できなくなる自体も十分ありえます。

イベント継続の為にイベントルール、大会の趣旨をよく理解して責任のある行動・言動を行ってください。

- ・イベント中、パドック内にてレース参加車両によるエンジンをかけての走行は原則禁止です。

**パドック内でのローリング、ブレーキテスト、バーンアウト、外周道路の走行は昨年より厳しいペナルティーをとっております。**

- ・運転やピット作業に支障をきたす可能性のある薬物の使用や飲酒は、当然ですが禁止です。
- ・決められた場所以外での喫煙は禁止します。**特にピットでの喫煙は絶対にしないでください。**
- ・ビギナーや自分より技能的に下位と思われる参加者に対しては思いやりのある行動を取ってください。  
(悪質な進路妨害や危険走行は1周減等ペナルティを適用します) 初心者の方にはビブスを着用して頂きます、
- ・大会およびその前後での参加者各自の車両・備品類の破損、チーム員やゲストの損傷は各自がその責任を負います。
- ・今回、**決勝レース中はピットレーンお子様厳禁です**、厳重に取り締まります。

保護者の関係チームにペナルティーを課す場合がありますので、くれぐれも目を離さないようにお願いします。

**(初回は注意、2回目1周減算、3回目の注意は失格とします)**

- ・大会参加にあたり関連して起こった傷害、死亡、その他の事故等で受けた損害に対し、  
主催者及び大会役員、会場管理者に対して非難や責任の追及、または損害賠償の請求は出来ません。

#### ライダーの装備

ライダーの安全を守るため、以下の基準を満たした装備を着用してレースに臨んでください。

当然ですが、過去の転倒などにより大きなダメージを受けている物やサイズの

極端にあっていない物など安全上不備のある物に関しては使用を禁止します。

- ・シールド付きフルフェイスヘルメット(JIS-C 種、2 種、SNELL 規格のいずれかに合格しているものが望ましい)
- ・MFJ 公認のレーシングスーツもしくは同等以上の強度を持つと主催者が認めたもの。
- ・皮革もしくは同等以上の強度を持つレーシンググローブ、レーシングブーツ。
- ・脊椎パッド、チェストパッド、ヘルメットリムーバーの装着を強く推奨します。

#### ライダーの保険

**今年度よりライディングスポーツメンバーズ (RSM) に加入が義務化されました、確認できない場合、出走できません、RSM保険に必ずご加入ください。**

**ライディングスポーツメンバーズ (WEB 登録できます) はHBFのHPより加入できます。**

**(当日加入はできません)**

#### ペナルティなど

- ・主催者は悪質なルール・マナー違反、大会の趣旨に著しく反する行動などに対してペナルティを課すことができます。主催者は指示に従わない参加者を退場させる権限を持ちます。

## 【 車 両 規 程 】

### 車両規程の意義

- ・ レースの安全性を確保するため
- ・ レースの公平性を担保するため

マシントラブルは自分だけでなく他人に危険を及ぼすことにもなりかねません、車両の整備は確実に行ってレースに臨んでください。過剰なチューニングもトラブルの元になる場合があります。

大会の趣旨をよく理解し、ライダーの技量によるレースができるように心掛けてください。迷った場合はノーマルが基本です。

### 車検長の権限

車検長は車検に関する全ての権限を有します。すなわち車検の可否に関する最終的な判断は車検長に委ねられます。

### ミニバイク全クラス共通の規程

安全上必ず守られなければならない事項

- 3.1. 出場車両は安全上完全に整備されていること。
- 3.2. 保安部品やスタンドは取り外すこと。  
また、不要なカウルの取り外しやカウルの不要部分をカットする加工、取り外しにともなう不要ステー類の取り外しおよびカットは可。  
ただし、カットした部分が危険な形状にならないように注意すること。
- 3.3. 車体のいかなる部分にも鋭利な箇所がないようにすること。レバー類、ステップ類は特に注意してください。転倒や走行に伴う折れや削れによるものでも認められません。  
レース中の転倒による場合でもできるだけ対処してください。
- 3.4. フロントフェンダーの取り外しは不可。
- 3.5. ステップのバンクセンサーは取り外すこと。サイドスタンドステーなどが走行時に路面に接触する場合はカットするなどして、十分なバンク角を確保してください。
- 3.6. バーエンドキャップは必ず装着すること。  
ただし、未貫通タイプのグリップが装着されている車両はこの限りではありません。
- 3.7. ハンドルがいったいに切れた状態でハンドルとタンクの間には手をはさまれない十分な隙間を確保すること。この目的のためにステアリングストッパーを取り付けたりストッパー部分を加工することは認めます。  
ただし、ステアリングダンパーをステアリングストッパーとして使用することは不可。
- 3.8. キャブレターオーバーフローキャッチタンクを取り付けること。斜めになっていると十分な容量が確保できないので、できるだけ垂直に取り付けるようにしてください。  
ガソリンや熱に弱い素材・飲料水容器の流用は不可とします。
- 3.9. 水冷エンジン車でラジエーターオーバーフローパイプを有する車両にはラジエーターキャッチタンクを取り付けること。  
純正リザーバータンクがあるものは必要ありません。
- 3.10. 水冷エンジンの冷却水は真水もしくは水とアルコールの混合物に限ります。
- 3.11. オイルドレンボルト(オイル排出口)、フィルターキャップ(オイル注入口)は

ワイヤーロックすること(ネジを締める方向に引っ張るように！)。

- 3.12. 4 サイクル車でエアクリーナーボックスを取り外す場合、  
ブリーザーパイプにはオイルキャッチタンク(金属製で 250cc 以上)をしっかりと  
取り付けること。飲料水容器の流用は不可。

#### 安全性・公平性の観点から守らなければならない事項

- 3.13. ミニバイク 4 サイクル車はその車両のオイル全量を受けられるアンダーカウルを装着すること。
- 3.14. 使用燃料は一般市販されているレギュラーガソリン、ハイオクガソリンに限ります。
- 3.15. レース中の給油に使用する給油器具は消防法に適合したガソリン携行缶に限ります。  
ジョッキやポリ容器などは禁止です。クイックチャージャーの使用も禁止します。
- 3.16. カウルの材質変更、カウルステーの変更は可。シートの変更は可。
- 3.17. ハンドルバー、グリップラバー、スロットルグリップの変更は可。レバー類の変更も可。
- 3.18. ワイヤー類の変更は可。
- 3.19. タイヤは通常の市販ルートで販売されている物へのみ変更可。  
装着可能なレインタイヤが市販されている車両に関しては  
レインタイヤの使用を認めます。スリックの使用やグルーピングは不可とします。
- 3.21. プラグ、プラグキャップ、プラグコードの変更は可。
- 3.22. CDI の交換、スピードリミッターの解除は可。
- 3.23. ワイヤーハーネスの変更は可。
- 3.24. スピードメーターの取り外しとその後処理は可。
- 3.25. キーシリンダーの取り外しは可。ただし、取り外した場合はキルスイッチを取り付けること。
- 3.26. キャブレターインナーパーツの変更、エアクリーナーの取り外しとボックスの取り付けは可。
- 3.27. スターター機構の取り外しとその後処理は可。
- 3.28. バッテリーの取り外しは可。
- 3.29. ブレーキマスターシリンダーガードの取り付けおよびブレーキパッド・ホースの変更は可。
- 3.30. 前後スプロケットの変更とチェーンサイズ変更は可。
- 3.31. ステップおよびシフトパターン変更にもなうリンク機構の変更・改造は可。
- 3.32. フロントサスペンションオイル・スプリングの変更とインナーパーツの加工は可。
- 3.33. リアサスペンションの変更は可。
- 3.34. フロントゼッケン及び車両の両サイドに参加受理書に記載の**ゼッケン番号を、  
明確に読める大きさ・字体で表示すること**。市販のゼッケン文字を使用するか  
カッティングシートでの自作とし、ビニールテープ・ガムテープなどの文字やゼッケンプレートは不可です。  
色はベースの色と反転した読みやすい色をお願いいたします。  
ベース白 文字黒 ベース赤 文字 黄色など  
(当日、車検の際ゼッケンを読みづらいと判断した場合こちらで用意したゼッケン(有料)をつけて頂きます。)
- 3.35. 純正フロントスプロケットカバー、純正チェーンカバー、  
リアスプロケットガードの取付けを強く推奨します。

3.36. その他の不要部品の取り外し、純正部品の流用などは、マシンのパワーアップや

過度の軽量化などマシン性能の向上を主な目的とする場合以外であれば(新規に購入せず手持ちの部品を使いたい、安い部品を使いたい、入手しやすい部品を使いたいなど)、基本的に各自の自主的な判断に委ねます。ただし、それによって危険が生じたり公平性を損ねたりすることの無いように十分注意してください。また車検時に変更を命じられた場合は速やかにしたがってください(異議は認めません)。

ミニバイク耐久 参加車両クラス ■ エンジョイクラス、EXP クラス

ノーマルクラス車両(EXP & EJ)HRCGROMcup 車両

(S T, Mクラス) 車両の排気量は、2st-50cc 未満、4st-100cc 未満とする。

NSR50/Mini TZM50R APE100&XR100MOTARD、KSR110 NSF100 などが該当  
KSR110・GROM125 S U P E R C U B C125 の参加を認める。

まるち杯M1 2、Mクラス、Mini-MotoST NSF トロフィークラス HRCGROMcup は HRC の車体規則を参照ください。

※HRC GROMcup 耐久 章典

HRCGROMcup 車両はノーマル車両規定に入りますが、追加で別章典があります。

今年度は2024年 HRCGROMCup はアドバンスクラスと、ルーキークラスと別章典になりますが、HBF で定めた、エンジョイクラス、エキスパートクラスの2クラスの中での GROM 車両の上位をそれぞれの章典の対象とします。

HRC が定めた厳格なレギュレーションがあり、それを遵守していただきます。

「HRC GROM C u p 技術規則」 2024 年度版を参照 (HRC HP にて参照できます)

準じない車両は HRCGROMcup クラス章典とは致しません(特に指定タイヤの仕様にはお気を付けください)

■ 準改造、改造クラス (12、17 インチ S P クラス) OPEN クラス

2ST ミッション付準改造車。ホイールの直径が12インチ以下の車両12インチを超える車両

4ST ミッション付き100cc4ストローク準改造車 (NSF100/Ape100/XR100M/NSR 4st コンバート仕様車/NS50R 4st コンバート仕様車等)

SP12 SP17 車両規定に準ずる。※その他、12インチ OPEN 車両の参加も認めます。

(馬力、車両に対して、容認しがたい性能差のあるものは、ハンデキャップ措置をとる場合があります)

またその他の車両も、OPEN 車両に関しては主催者にお問い合わせください。

また、準改造、改造クラス参加台数が開催基準に達しない場合、ノーマルクラス規定とのエンジン出力を考慮し、周回数ハンデを課しノーマルクラスとの総合で順位を出すこととします。